

平成16年度一般会計決算の概要

◇ 歳入の状況

町税は、町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税及び都市計画税の全てにおいて前年度を上回り、特に法人税割の大幅な伸びにより町民税が72.1%の増となり、町税全体としても45.9%増加した。一方、地方交付税は税収の増加や所得譲与税の創設、三位一体の地方交付税改革等により41.9%の減となり、国庫支出金、県支出金とも教育費負担金等の減少によりそれぞれ18.6%、13.0%の減となった。繰入金は、財政調整基金、町債管理基金、地域振興基金からの繰入がなくなったため、28.8%の減となった。歳入全体では18.8%の増となった。

◇ 歳出の状況

総務費は財政調整基金の積立を行ったので103.3%の増、民生費は障害者支援費制度や障害児学童保育館建設等により12.8%の増、公債費は63.9%の増となっているが、平成7・8年度の減税補てん債の借り換えという特殊事情があったため、実質には4.2%の増に留まっている。一方、衛生費はクリーンパーク茂原の負担金が減少したため21.3%の減に、農林水産業費は農業集落排水事業特別会計への繰出金の減少により33.1%の減に、商工費は商工振興資金融資事業基金繰出金の減少により48.4%の減となった。歳出全体では16.9%の増となっている。